



BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM  
井上和郎

大会名：Paris-Troyes (FRA、UCI1.2)

開催日：2013年3月10日

開催地：シャンパーニュ=アルデンヌ地域圏

アンカーメンバー：井上和郎、清水都貴、ダミアン・モニエ、ヴァンソン・カナル、トマ・ルバ、初山翔、伊丹健治、平井栄一

出場チーム：プロコンチネンタル2チーム、コンチネンタル8チーム、フランスアマチュア15チーム

出走：25チーム、174人

天候：曇り時々雨、気温6～9℃

距離：174.2km

## 結果

1 Jean Marc BIDEAU – Bretagne- Séché Environnement 4時間12分17秒

2 Thomas VAUBOURZEIX – La Pomme Marseille +2秒

3 Julien DUVAL – Roubaix - Lille Métropole +2秒

18 ヴァンソン・カナル - BRIDGESTONE ANCHOR +29秒

40 初山翔 - BRIDGESTONE ANCHOR +36秒

57 ダミアン・モニエ - BRIDGESTONE ANCHOR +36秒

58 トマ・ルバ - BRIDGESTONE ANCHOR +36秒

71 伊丹健治 - BRIDGESTONE ANCHOR +1分30秒

91 清水都貴 - BRIDGESTONE ANCHOR +6分5秒

OTL 井上和郎

DNF 平井栄一

OTL (over time limit) 、DNF(do not finish)

スタート後、約 40km は比較的平坦で風の影響を受けやすく、  
その後はゴールまでアップダウンが続くコース。  
一つ一つの登りは高低差 100m ほどだが、  
ずっと丘陵地帯を進むため、獲得標高は 2300m に達する厳しさがある。

今週は、あえてレース直前まで追い込んだ練習をしていて、  
かなりの疲労度を残して臨んだ。

序盤から激しい展開で、  
いきなり 10 数名の逃げに行かれて、  
先週同様アンカーが乗れていない。

スタート直後の乱打戦に、  
脚と言うよりレース感で対応できていない。

しかし、  
今回はすぐにチームでローテーションし、  
何とか吸収し振り出しに戻す。

この間に、  
私は力の出ない脚が限界に達して集団から脱落、  
シーズン序盤なのでコースを走りきった。

その後、  
トマが勝負の 12 名に入ったが、パンクで脱落。  
ヴァンソンが最後に追走して 18 位でゴール。  
初山、トマ、ダミアンが、メイン集団で完走した。

体調の底上げを期待して、ぎりぎりまで追い込んでレースに挑んだ。  
仕上がりが遅れているので、  
4月に勝負できるようなイメージで体を作っている最中です。

サポート

フレーム：ANCHOR RMZ SEL.2 RACING RED (EQ)

コンポ：SHIMANO DURA-ACE 9000 および 9070 (Di2)

クランク：53×39T 170mm

ハンドル：PRO VIBE カーボン OS コンパクトJ 420mm (c-c)

ステム：PRO VIBE 7S ステム OS 120mm ±10°

バーテープ：KABUTO BT-1

ホイール：SHIMANO DURA-ACE WH-9000-C50-TU、11-25T

ペダル：SHIMANO DURA-ACE PD-9000

ボトルケージ：KABUTO RC-10

シューズ：SHIMANO SH-R320 (38)

レーシングウェア：Wave One レインシールド入り特注半袖、レジェフィットサイクルパンツ、アームウォーマ、ウィンターシューズカバー、ストームベスト、レーシングソックス

KABUTO ウィンターグローブ KG-8W

ヘルメット：KABUTO REDIMOS

サングラス：adidas evil eye halfrim pro (characteristic of a team)

ボディサポート：SEV ルーパー type 3M、ルーパーブレスレット2、アンダーインソール、トラベルパッド、パッチ

補給食：SAVAS ピットインゼリーバー、ピットインリキッド、スポーツウォーター

アフターレース用コンプレッション：2XU エリート・コンプレッション・ソックス、コンプレッション・レッグスリーブ

